

留学報告書

記入日:2015年12月19日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部/史学地理学科/アジア史専攻
留学先国	大韓民国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 高麗大学 現地言語: 고려대학교
留学期間	2015年3月～2015年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年7月30日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:3月上旬～6月下旬 2学期:
学生数	学部生 26,126人 / 大学院生 9,594人(2008)
創立年	1905年

留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	200万	20万円	4ヶ月間
食費	150万	15万円	
図書費	10万	1万円	教科書など
学用品費		円	
教養娯楽費	20万	2万円	
被服費	20万	2万円	
医療費		円	
保険費	60万	6万円	形態:大学指定
渡航旅費	80万	8万円	往復航空券・旅行費
雑費	10万	1万円	
その他	100万	10万円	追加寮費(夏休み期間延長分)
合計	650万	65万円	

渡航関連

渡航経路:

渡航費用

チケットの種類	
往路	約 2 万円
復路	約 1 万円
合計	約 3 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

チェジュ航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮(CJ International House)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学から資料が送られてきたので、その資料にそって手続きしました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮の部屋は個室でしたが、トイレ・シャワールーム・洗面所は共同で、ルームメイト 3 人で使っていました。坂の上であり、登るのが少し大変ですが寮自体はきれいで、自習室・ジムなどもあり、快適に過ごすことができました。ただキッチンには調理器具や調味料がまったくなかったので、少し不便に感じました。
色々な国の人が寮にいますので、生活習慣・価値観の違いなどから違和感を感じることもあると思いますが、多国籍の中で生活すると色々な発見があったり、交流ができると思うので、良い経験になると思います。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生を手助けしてくれる KUBA というサークルや、留学生のための事務室に相談しました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

留学期間中に MERS が大流行し、日本でもニュースになっていましたが、在留届を出していたので現地の日本大使館から随時情報を受け取ることができ、その情報を参考に行動していました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学には Wi-Fi があり、寮でも使うことができました。寮の Wi-Fi は部屋によって接続が不安定な時もありましたが、部屋にはパソコンにつなげるネット回線があり、便利でした。
また、大学のまわりにはカフェが多く、そこでも Wi-Fi を使うことができました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行で、日本でも外国でも使えるものがあったので、その銀行口座を開設して使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬は韓国でもありますが、一応日本の薬も持って行くと安心だと思います。

卒業後の進路について	
1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 9 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국사회와문화	韓国の社会と文化
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	박혜진
授業内容	教科書に沿って、韓国の社会や文化(地理・食・住居・教育・政治・伝統文化など)を学ぶ授業
試験・課題など	・中間、期末試験 →授業でやった中から選択論述 ・週に1回のミニレポート提出 →週に2コマある授業のうち1コマがミニレポート提出で出席点となり、授業自体は週に1回
感想を自由記入	日本人留学生向けに開講されている授業でした。ミニレポートは自分の好きなテーマ(韓国に関係のあるもの)を一つ決め、提出しました。韓国語で文章を書くことは大変でしたが、先生がそのレポートを添削して返してくれるので、とても勉強になりました。テストや課題が多く大変でしたが、韓国について知ることができ、語学の勉強にもなったので、学ぶことが多い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한일교류의역사		韓日交流の歴史	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	정애영		
授業内容	日韓交流の歴史を古代から現代に渡り学ぶ授業		
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・発表、まとめレポート ・中間、期末試験 → 論述問題 		
感想を自由記入	<p>授業内容は日本で学んだ歴史の内容とかぶるところも多く、時代の流れから理解しやすかったのですが、詳しく見る箇所が韓国ならではの部分も多く、難しさと面白さがありました。また、使う映像が日本の番組だったり、日韓の近さ、交流の歴史を改めて感じることができました。課題が多く大変でしたが、留学生に優しく、初めて知ること多い授業でした。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국어중급 I		韓国語中級 I	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 75 分が 4 回		
担当教授	정하라		
授業内容	韓国語中級		
試験・課題など	クイズ(ミニテスト)、個人発表・グループ発表、中間・期末試験		
感想を自由記入	<p>韓国語中級レベルを学ぶ授業で、高麗大学が出している教科書に沿って、発音や読解、リスニング、文法などを勉強しました。週に 4 回とコマ数は多かったのですが、実際に授業を受けているとあっという間で、先生がとても明るく、あまり緊張せずに授業を受けることができました。課題や試験が多く大変でしたが、この授業を受けている色々な国の人たちとの交流を通して、それぞれの国の文化について知ることができました。また、その人たちと会話をする手段として韓国語を使う環境にいたことが不思議な感覚で、良い経験になりました。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
일본역사의이해		日本史の理解	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Katsurajima Nobuhiro		
授業内容	日本史		
試験・課題など	中間レポート、期末レポート		
感想を自由記入	日本人の先生が日本語で行う授業でした。世界史の流れの中から日本を捉えるような授業で、日本で学んだ日本史とは視点が異なるように感じました。また、日本史のあるテーマから韓国人が日本語で発表するのを聞き、日本人とは違う視点から深く掘り下げていて、新たな見方から日本史を学ぶことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
현대일본론		現代日本論	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Kanazu Hidemi		
授業内容	日韓の現代の問題を取り上げた授業		
試験・課題など	中間レポート、期末レポート		
感想を自由記入	この授業も、日本人の先生が日本語で行う授業でした。授業内容は、教科書問題や慰安婦問題、靖国参拝問題など、日韓に関わる問題を取り上げ、映像なども見ながら学びました。また、韓国人と日本人がグループになって話し合う機会もあり、お互いに意見交換をすることができ、貴重な経験をすることができました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	学内での出願
8月～9月	学内での面接
10月～12月	現地大学への出願
2015年 1月～3月	渡航 履修決定 授業開始
4月～7月	中間試験 KUBA 釜山旅行 学園祭 期末試験 夏休み韓国語教室 済州旅行 帰国
8月～9月	
10月～12月	
2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	小学4年生の時に家族と韓国へ旅行に行き、そこで日韓の歴史を知ったことで、韓国に関心を持つようになりました。実際に語学を勉強し始めたのは大学に入ってからで、漠然と韓国に行けたら良いと思っていましたが、留学を決めたのは学内選考の本当に直前でした。ずっとどうしようか迷っていましたが、「この時期に何か自分を変えられることがしたい」「日韓問題について現地で学びたい、挑戦したい」という思いがあったので、留学しようと決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学をもっと勉強しておけばよかったと思います。留学中にはたくさんの人たちと交流する機会が多いので、語学力があれば会話の幅が広がり、早く新しい環境になじむことができます。授業での課題も多いので、読解力や作文力、会話力を上げておく役立つと思います。また、生活面における必要事項なども知っておくと便利だと感じました。
この留学先を選んだ理由	留学生を手助けしてくれる制度があり、バディーが一人ついてくれると知ったので、安心感があったこと、また韓国で有名な大学でもあったことから、高麗大学に決めました。
大学・学生の雰囲気	大学はとても広く、建物も立派で驚きました。自然も豊かで春になると桜が満開になり、とてもきれいでした。大学の奥の方には木のアーチもあり、晴れた日は特に心地よく穏やかな気分になりました。学生は授業に積極的で、真面目な印象を受けました。また、留学生を手助けしてくれる KUBA というサークルの人たちのコミュニケーション力はすばらしく、とてもフレンドリーに接してくれるので、話しやすかったです。
寮の雰囲気	坂の上にあり、夏は特にきつかったのですが、建物はとてもきれいで、自習室やジムなどもあり、快適に過ごすことができました。色々な国の人がいて、世界を感じることができましたし、ルームメイトとは特に交流することができ、お互いの文化を知ることができました。ただ、キッチンには道具や調味料がなく、すべて自分でそろえなくてはいけなかったため、不便に感じました。
交友関係	留学当初は環境に慣れることに精一杯で、語学にも自信がなかったので、あまり積極的に話せなかったのですが、とりあえず挑戦してみようと交流会などに参加するうちに、仲良くなることができました。また、語学の授業でも徐々にまわりの人と話せるようになり、一緒に食事や外出をしたり色々な話をしたりする中で、仲良くなることができました。
困ったこと、大変だったこと	新しい環境に慣れることは大変で、行った当初2回風邪をひき、大変でした。授業も休んでしまい、授業内容を先生からメールで聞いたり、風邪で体がだるい中作業するのはつらかったです。まだ慣れない段階で体調を崩し、気持ち的にもつらかったのですが、ルームメイトがリンゴを剥いてくれたり、食事を買ってきてくれたりと助けてくれたので、とてもありがたかったです。また留学中に MERS が流行ったため、日本大使館のメールをよく読み、うつらないように気を配るのが大変でした。
学習内容・勉強について	日韓の歴史についての授業を多くとっていました。言葉が理解できない、予習が間に合わないなど落ち込むこともたくさんありましたが、とにかく休まず授業に参加することを心がけました。発表機会のある授業もあり、言葉や資料集めなど未熟な部分も多く上手に行かず悩むこともありましたが、発表を通して学ぶことも多く、現地の学生の発表も聞くことができ良い経験になったと思います。
課題・試験について	レポートや試験がたくさんあり、発表もあったので、その準備をするのが大変でした。場合によっては資料や本が必要で、情報を集めるのも難しかったです。やりきれなかったものもあったのですが、課題によって学んだことも多く、テストに勉強したことが生かされると、とても嬉しく気持ちがホッとしました。
大学外の活動について	留学期間が半年ということもあり、あまり大学外の活動はできなかったのですが、色々なところに旅行に行き、韓国を知ることができました。またタクシー運転手と話したり、スーパーで働く方と仲良くなったりと、現地の人たちとの交流を通して、留学の楽しさを感じました。
留学を志す人へ	私はずっと留学を迷っていましたが、自分を変えたい、挑戦したいという気持ちから、半ば勢いで留学に行きました。あまり留学準備もできず、行く前にやっておけばよかったと思ったことも多々ありました。しかし、もうやるしかないという環境に置かれ、とにかくやってみようとして挑戦したことから得られたことも多く、貴重な経験ができたと思います。留学に対して「行ったらなんとかなる」という言葉をよく聞きますが、その通りだと感じました。少しでも行きたい気持ちがあるのであれば、挑戦してみてもよいと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	韓日交流の歴史		韓日交流の歴史			(外出)	(外出)
		現代日本論		現代日本論	交流会 友人と食事	(勉強)	(勉強)
午後		日本史の理解		日本史の理解		(KUBA)	
	韓国の社会と文化 (オンラインでミニレポート提出)				韓国の社会と文化		
夕刻	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語			
夜				交流会 友人と食事			

